



平成 29 年 5 月 12 日

各 位

会 社 名 株式会社フォーバル
代表者名 代表取締役社長 中島 將典
(コード番号：8275 東証第一部)
問合せ先 常務取締役 加藤 康二
電話 03-3498-1541

**子会社フォーバル・リアルストレートの通期業績予想と実績値との差異及び
前期実績値と当期実績値との差異に関するお知らせ**

本日、当社の連結子会社である株式会社フォーバル・リアルストレート（コード：9423 JASDAQ）は、平成 29 年 3 月 13 日に公表いたしました通期業績予想と本日公表の実績値の差異について、また前期実績値と当期実績値との差異について別添資料のとおり公表いたしましたのでお知らせいたします。

なお、本件による当社の業績への影響は軽微であり、当社の業績予想の修正はございません。当社の連結業績につきましては、別途本日開示いたします。

(添付) 株式会社フォーバル・リアルストレート開示資料

「通期業績予想と実績値との差異及び前期実績値と当期実績値との差異に関するお知らせ」

以 上

各 位

会 社 名 株 式 会 社 F R S
 (登記社名 株式会社フォーバル・リアルストレート)
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 吉 田 浩 司
 (J A S D A Q ・ コード 9 4 2 3)
 問 合 せ 先 取 締 役 管 理 部 長 早 川 慎 一 郎
 (T E L 0 3 - 6 8 2 6 - 1 5 0 2)

通期業績予想と実績値との差異及び 前期実績値と当期実績値との差異に関するお知らせ

平成29年3月13日に公表いたしました平成29年3月期(平成28年4月1日～平成29年3月31日)の通期業績と本日公表の実績値につきまして、下記のとおり差異が生じたのでお知らせいたします。

併せて、前期実績値と当期実績値に差異が生じたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想と実績値との差異について(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(1) 連結

(百万円)

	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	43	43	78	3円33銭
当期実績(B)	45	46	73	3円15銭
増減額(B-A)	2	3	△4	—
増減率(%)	6.0	7.2	△5.5	—
(ご参考) 前期実績 (平成28年3月期)	32	32	32	1円40銭

(2) 個別

(百万円)

	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	34	37	72	3円08銭
当期実績(B)	19	46	73	3円15銭
増減額(B-A)	△14	9	1	—
増減率(%)	△41.9	24.4	2.4	—
(ご参考) 前期実績 (平成28年3月期)	30	32	32	1円40銭

2. 前期実績値（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）と当期実績値（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）との差異について

(1) 連結

(百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績値 (A) (平成 28 年 3 月期)	925	32	32	32	1 円 40 銭
当期実績値 (B) (平成 29 年 3 月期)	1,146	45	46	73	3 円 15 銭
増 減 額 (B - A)	220	12	13	41	—
増 減 率 (%)	23.8	39.8	40.0	125.7	—

(2) 個別

(百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績値 (A) (平成 28 年 3 月期)	479	30	32	32	1 円 40 銭
当期実績値 (B) (平成 29 年 3 月期)	568	19	46	73	3 円 15 銭
増 減 額 (B - A)	89	△10	13	41	—
増 減 率 (%)	18.6	△35.5	40.1	125.7	—

3. 差異の理由

当連結会計年度において、当社グループは顧客企業の移転時における、不動産物件の仲介から内装工事、各種インフラの整備やオフィス機器・什器の手配までをトータルにサポートするソリューション事業を中心に事業活動を行ってまいりました。不動産仲介につきましては、顧客単価は前年度比で約 15%の増加となったものの成約件数が約 7%の減少となり、売上高は前期実績値を上回ったものの、利益については前期実績値・予想とも下回りました。一方、子会社の㈱FRS ファシリティーズを中心とした内装工事や OA 機器・什器の販売につきましては、成約件数は前年度比で約 9%、顧客単価は前年度比で約 28%の増加となったことから、売上高・利益とも予想を大きく上回りました。その結果、連結業績及び個別業績における売上高は前期実績値を大きく上回る結果となりました。

また、連結業績における営業利益及び経常利益につきましては、ほぼ予想通りとなったものの、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、△34 百万円（△は利益）と見込んでいた法人税等調整額が△27 百万円となったことから、予想を下回る結果となりました。個別業績における営業利益につきましては、予想を大きく下回ったものの、経常利益につきましては、子会社の㈱FRS ファシリティーズの業績回復による貸倒引当金戻入益を 22 百万円計上したことから予想を大きく上回り、当期純利益につきましては、ほぼ予想通りの結果となりました。

(注) 平成 29 年 3 月期の業績の詳細につきましては、本日公表の「平成 29 年 3 月期 決算短信」をご参照ください。

以上